

## 立江川の保全活動 子どもたちがフナの稚魚を放流

3月3日、立江幼稚園と立江保育所、立江小学校、小松島南中学校の児童や生徒ら約50名が市立体育館横の立江川にフナの稚魚約3千匹を放流しました。

この取組みは、小松島淡水漁業協同組合が環境教育や環境保全活動の一環として毎年行っているものです。

子どもたちは、バケツに入った体長約10cmのフナの稚魚を川へ放し、魚とのふれあいを楽しみながら、生き物や古里の自然を大切にすることを学んでいました。



立江川でフナを放流する子どもたち

## 小松島みなとオアシス 新制度で登録

国土交通省四国地方整備局小松島港湾・空港整備事務所が3月3日、同事務所の佐野正佳所長から濱田市長に小松島みなとオアシス登録証が手渡されました。

みなとオアシスとは、港を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興が行われる施設を、国土交通省港湾局長が登録するものです。本市では平成16年に同省四国地方整備局からkocoloを中心に、みなとオアシスに登録されていましたが、今回、要綱が見直されたため、新たな制度での登録となりました。

市は今後、小松島みなとオアシス運営者のNPO法人港まちづくりファンタジーハーバーこまつしまなどと連携し、地域住民の交流促進や観光振興に取り組んでいきます。



国土交通省四国地方整備局小松島港湾・空港整備事務所の佐野所長から小松島みなとオアシス登録証を受け取る濱田市長

## 小松島市消防フェア 親子連れが楽しく防火・防災を学ぶ

市消防本部前駐車場で3月5日、「小松島市消防フェア」が開催され、約600名の親子連れが訪れました。

会場には、消防車両の乗車体験や放水体験、心肺蘇生法などの救急体験、煙体験ハウスを使用した火災時の煙体験など数多くの体験コーナーが設けられたほか、炊き出し訓練コーナーでは、ぜんざいの試食会が行われました。また、市消防本部職員や女性消防団員らが来場者に住宅用火災警報器の設置や点検を呼びかける普及啓発なども行われ、来場者はイベントを楽しみながら、防火・防災への意識を高めていました。



来場者に住宅用火災警報器の設置や点検を呼びかける市消防本部職員と女性消防団員

## 檜淵八幡神社 創建千年を祝う

1017年に建立したと伝えられる檜淵八幡神社が今年で千年を迎えることを記念した「檜淵八幡神社千年祭」が3月5日に開催されました。

檜淵八幡神社で記念講演や雅楽演奏、記念碑除幕式が行われた後、檜淵小学校のグラウンドで餅投げが盛大に行われ、地域住民ら約1,000名が創建千年の節目を祝いました。

また夜の境内では、地元有志や市地域おこし協力隊らが手作りした竹灯籠がライトアップされ、幻想的な雰囲気を出していました。



檜淵小学校のグラウンドで行われた餅投げの様子